

伊藤たかえの 2016年



[臨時国会ハイライト]

10月11日
予算委員会
反対討論



11月17日
総務委員会
反対討論



FOR NEXTキャンペーンin愛知

蓮舫代表をご案内

蓮舫代表が12月10日に名古屋市を訪れ、学童保育の視察やブライダル業界で働く女性らと座談会を行いました。その中で蓮舫代表は「社会の『おかしい』を少しずつ除いていくことが私たちの仕事。双方向で意見を交換しながら、幸せな人を増やしたい。明るい未来、幸せな未来をつくりたいということが私の想いだ」と述べられました。



『FOR NEXTキャンペーン』とは…

次世代の為の政治を目指す民進党、初の女性代表である蓮舫代表が、各地で様々な取り組みを行っている女性やキーパーソンを訪ね歩き、現場から見てきた課題を民進党の政策や活動に反映していく取り組み。

女性の働き方について講演



青年局副局長を拝命

概ね45才以下の議員から成る青年局の副局長として民進大学を開催。当日のディスカッションでは、全ての白血病患者が速やかに骨髄移植できる社会を実現する為政治が果たせる役割について、コーディネーターとして意見の深化集約に努めました。



民進

Minshin Press (民主改題)

号外 2017年1月14日発行
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@minshin.or.jp
https://www.minshin.jp

参議院議員

2017年新春号

伊藤たかえ

2016年は多くの出会いに恵まれた幸せな年でした。暑い夏を共に走って下さった皆さま。1票を預けて下さった51万9,510人の恩人の皆さま。本当に有難うございました。自分が何故志を立てたのか、何を約束してここに送って頂いたのか、決して決して忘れずに、早く、強く優しい働き者になります。初めての国会は、数の力を思い知る、悔しさを己に刻む日々でした。先人たちが築いてきた良識、熟考、そして再考の府としての参議院に戻す為。お互いが切磋琢磨する、健全な二大政党政治を実現する為。職務に精励致します。どうか引き続きご指導の程、宜しくお願い申し上げます!

参議院議員 伊藤たかえ

愛知事務所開設のお知らせ

スタッフ紹介 選挙期間中からずっといてくれる4人です。



左から 第一秘書 江原史朗 政策秘書 中島浩一 愛知事務所 萩原延子 第二秘書 川井太司

和而不同 江原史朗
縁を大切に 笑顔で! 川井太司 萩原延子



伊藤たかえ 事務所 1FにUR賃貸ショップ金山が入っているビルの7Fです

参議院議員 伊藤たかえ事務所

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1-1 参議院議員会館1008号室
TEL:03(6550)1008 FAX:03(6551)1008

愛知事務所 〒456-0002 愛知県名古屋市熱田区金山町1-5-3 トワ金山ビル7階
TEL:052(683)1101 FAX:052(683)1102

初質問

安倍総理へ“普通感覚”で質問

本会議に登壇し、安倍内閣の外交姿勢について質問致しました。総理や政府の情報開示が余りにも不十分な為、国民は今、漠然とした不安の中にいること。アメリカ大統領選挙前にクリントン氏のみと面会した失策を覆い隠したいばかりにトランプ次期大統領に拙速に会いに行き、結果APEC期間中に開催される筈だったオバマ大統領との首脳会談が頓挫したという見方がある件や、ロシア外交については、経済協力をテコに領土問題の進展を図るという交渉手法は、お金をバラまいたはいいが殆ど見返りがないという事態になるのでは?という不安。まずは北方4島の帰属を明確にするのが大前提なのでは?ロシア側のミサイル配備については我が国の意思を正に表明すべきでは?など、溢れ出る安倍外交に対する疑問が新聞記事になりました。



露のミサイル配備
首相「遺憾申し入れ」
安倍首相は25日の参院本
会議で、ロシアが北方領土
の国後島と択捉島に移動式
の地对艦ミサイルシステム
を配備したことについて、
「北方4島は我が国固有の
領土だ。外交ルートを通じ
て、我が国の立場と相いれ
ず遺憾だと申し入れた」と
述べた。民進党の伊藤孝恵
氏の質問に答えた。

2016.11.26(土)読売新聞 朝刊

1. 一番驚いたこと

国会審議で一番驚いたのは、「全くかみ合わないQ&A」でした。初質問(予算委員会反対討論)の中で、目の前にいる安倍総理に「安倍総理、何を伺っても民主党政権時代よりはマシだ」という答弁はやめにして、質問に正面からお答えください!質問と答えがかみ合わない、国民は何か隠されているのかと不信を抱きます。そして政治はそんなもんだとシラケていきます」と、ド直球の想いを述べて参りました。



2. どんどん与えられる質疑の場

民進党の「すべての人に居場所と出番を」の綱領通り、新人議員の私にも会期中なんと5回も質問の機会を頂きました。毎日新幹線の車中で猛勉強。犬山⇄国会議事堂の往復5時間通勤は、今の私にとって必要で有意義な時間でした。

3. 質問が“ニュースになる”ということ

TPP特別委員会で質問した「乳児用液体ミルクの規格基準設定について」塩崎大臣からひき出した答弁がNHK 17時ニュースのトップで報じられました。ママの声、女性の声、働く者の声など「当事者の声」を出すことで、やっぱり社会は動くんだと。当たり前だろ!そんな事も知らずに政治家になったのか!と言われそうですが、言葉や概念、観念でもなく、心で、しっかり理解できました。

TPP特別委員会質疑

塩崎厚労大臣に “ママ目線”で質問

協定参加国の1つであるマレーシアから大量に輸入しているパーム油の危険性と、その油脂が育児用粉ミルクに含まれている問題を取り上げました。今まさに製品の規格基準の検討を始めている乳児用液体ミルクについても、成分の見直し、特に遺伝子組み換え原材料やパーム油の安全性調査を追加検討頂きたい旨を申し上げ、塩崎大臣から「新基準作りを政府が進める、その際ご指摘の内容にも留意する」との答弁を頂きました。



総務委員会質疑

高市総務大臣に “働く女性目線”で質問

高市大臣とNHK 靱井会長に質問を致しました。「女性活躍推進のためとして『マイナンバーカードに旧姓併記するためのシステム改修費』に100億円もかけるのはおかしい。そんなお金があるなら保育環境を整えてもらった方がよっぽど働く母は助かります」など、切実な訴えの他、NHKを取り巻く問題や、初の18歳選挙を終えて見えた課題、先端ITのリテラシー教育問題について取り上げました。



名古屋市議員 ひび健太郎氏の死と「新たな目標」

7月の参議院議員選挙で、病床から勇気をくれた、ひび健太郎名古屋市議員は2016年11月3日、白血病のため35歳の若さで、まだ生まれたばかりの息子を遺して、この世を去りました。彼が書き遺した、白血病など難病患者とその家族を支えるための政策「骨髄ドナー登録推進プラン(通称:ひびプラン)」を、民進党青年局が中心となって必ず実現していきます。



骨髄バンクのドナー登録会を党本部で開催しました。民進党では党職員の職務規定の改訂を行い、政党として初めてドナー休暇制度を導入しました。ドナー登録や移植手術ができる環境づくりを党派を超えて実現していきたいと、強く思っています。

ひび美咲氏 初当選!

ひび健太郎氏の想いを繋ぐため、自ら手を挙げ名東区の補欠選挙に挑んだひび美咲候補は16,089人の名東区民の皆様の一票に支えられ、当選することができました。ありがとうございました!

